

2021年12月2日

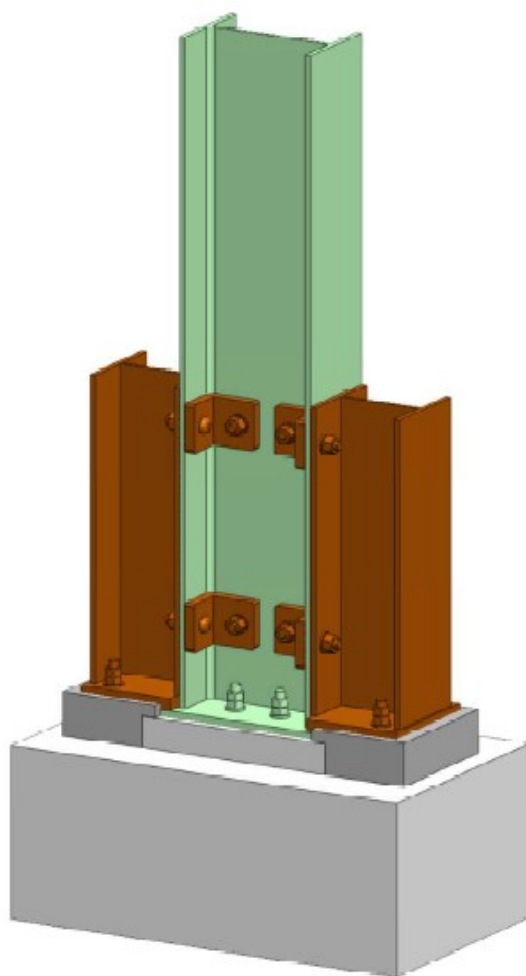
センクシア株式会社

柱脚部補強工法「スマートフィット工法[®]」をリファイン 既存躯体がH柱の場合の無溶接作業が可能になりました

建材機器の製造・販売及び関連工事を行うセンクシア株式会社（本社：東京都港区、代表執行役 執行役社長：笠原 伸泰）は、鉄骨造の柱脚部補強工法の「スマートフィット工法」をリファインしました。

鉄骨造建築物の耐震補強工事では、建物に補強部材を取り付ける際に、溶接する方法が一般的です。しかし溶接工法は、作業や火気養生に手間と時間がかかり、かつ工事中の火災リスクを伴うため、火気を使用しない安全安心かつ簡易的な接合方法が求められています。

これまでのスマートフィット工法では、補強柱設置の際に溶接作業が必要でしたが、この度のリファインにより、既存躯体の柱がH柱の場合に、無溶接で作業を行うことが可能となりました。また、柱脚部の靱性指標（F値）の向上を実現しました。



スマートフィット工法[®] イメージ図

■ 「スマートフィット工法®」の特長

(1) 無溶接工法（既存躯体の柱がH柱の場合に限ります）

現場での溶接作業が不要ですので、火気厳禁の環境でも施工が可能です。
また、有資格者の確保が不要となり、作業員の技量に依存しないため、一定の品質を確保できます。

(2) 設計の自由度向上

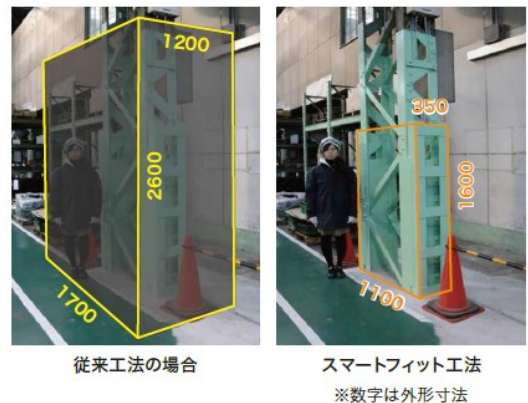
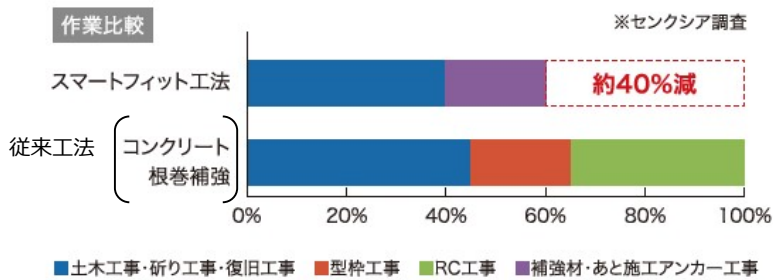
柱脚部の靱性指標（F 値）を向上することにより、効率的な設計が可能になりました。

（靱性指標の使い分け）

増打基礎	補強アンカーボルト種別	既存アンカーボルトの扱い 曲げ耐力累加の有無	靱性指標
無し	あと施工アンカーボルト	有	F=1.0
		無	F=2.0
有り	定着板付きアンカーボルト	有	F=1.0
		無	F=3.0

(3) 工期短縮・低コスト・省スペース

従来工法と比較して、約40%の工数を削減できます。また柱の張り出しが少ないため、省スペースでの施工が可能となり、大幅な工期短縮とトータルコストの低減にも寄与します。



(4) (一財) 日本建築センターの審査証明を取得

本技術を用いた耐力評価については、構造実験を行い、(一財) 日本建築センターより建設技術審査証明を取得しています。(BCJ-審査証明-283)



■ **価格** お問い合わせください。

■ **製造元および販売元**

東京都港区東新橋二丁目 3 番 17 号 (モメント汐留)

センクシア株式会社 耐震補強事業部 TEL: 03-4214-1925

＜本件に関するお客様のお問合せ先＞
センクシア株式会社 耐震補強事業部 TEL:03-4214-1925

＜本件に関する報道関係者のお問合せ先＞
センクシア株式会社 経営企画部 keiki@senqcia.com